

## 6月9日：ベトナム株は銀行・小売りを中心にわずかに下落

ベトナム株は上昇を継続は出来ず、3か月ぶりの高値から下落した。銀行と小売りが下げを牽引した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.05%安の899.43ポイントで取引を終えた。

VN指数は直近4営業日で2.87%ほど上昇しており、3か月ぶりの高値に達していた。

出来高は5億170万株で売買代金にして7.18兆ドンであった。

終値を決めるATCセッションで、取引所のトラブルがありATCセッションは停止となった。

取引時間中には905ポイントまで上昇することがあったが、利益確定圧力で最終的には下落して取引を終えた。

VN30指数は0.18%高の837.02ポイントで取引を終えた。

30銘柄の内の18銘柄が下落し10銘柄が上昇した。

銀行・小売り株が相場の重しとなった。

銀行、小売りのセクター指数は0.6-1.5%下落した。

BIDV銀行(BID)、ベティンバンク(CTG)、VPバンク(VPB)、モバイルワールドインベストメント(MWG)、FPTリテール(FRT)などが大きく下落した。

建設資材、鉱業・エネルギー、水産加工などは利益確定圧力に押された。

バオベトホールディングス(BVH)を筆頭に保険セクターは2.5%の上昇を記録した。

ビナミルク(VNM)が上昇し消費財セクターも上昇した。

証券セクターは、SSI証券(SSI)、ベトキャピタル証券(VCI)、VNダイレクト証券(VND)などが下落したのにも関わらず上昇。

本日の下落は直近の上昇を考えると仕方のないことだったとMB証券は語った。

国内勢の買いは依然として利益確定圧力を十分に消化できるほどの余裕があると同社は述べた。

投資家は大型株から中小型に物色を移していると同社は述べた。

小型株指数は0.4%高となった。

同社は今後も売り圧力は続くだろうと予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は0.03%高の120.13ポイントで取引を終えた。

同指数は直近5営業日で5.71%ほど上昇した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。